

「日本円金利指標に関する検討委員会」第26回議事要旨

(2021年9月17日(金) 17時00分～17時45分、電話会議)

1. 各国の金利指標等を巡る動向

- 事務局より、「日本円金利指標に関する検討委員会」(以下、検討委員会)に対して、各国の金利指標を巡る最新の動向について説明が行われた。

2. サブグループ議長からの報告

- 貸出サブグループ、債券サブグループの各議長より、第25回会合において報告・共有された、各サブグループにおける本邦タフレガシーに関する検討結果について説明が行われた。

3. 市中協議文書案について

- 事務局より、検討委員会に対して、本邦におけるタフレガシーへの対応に関する市中協議文書案について説明が行われた。
- 金融庁からは、以下の通り発言があった。
 - ・LIBORからの秩序ある移行対応を実現するためには、「移行」あるいは「フォールバック」条項の導入が基本的対応となる。3月の金融庁・日本銀行共同声明¹にもあるとおり、シンセティック円LIBORの利用は、あくまでも移行対応をしっかりと進めたもとの、真に移行が困難な既存契約に限定される、いわばセーフティネットとして利用されるべきもの。市中協議文書案も、この考えを踏まえていると認識。
 - ・市場関係者におかれては、シンセティック円LIBORに安易に依拠しようとせず、公表停止までの限られた時間の中でも着実に移行対応を進めることにより、LIBOR移行プロジェクトが無事完了できるよう、引き続きの対応をお願いしたい。
- 議長より、本年9月中を目途に市中協議を開始し、意見募集期間を10月中旬頃までとする旨が提案され、承認された。

¹ 金融庁 <https://www.fsa.go.jp/policy/libor/syntheticlibor202102.pdf>

日本銀行 https://www.boj.or.jp/announcements/release_2021/data/rel210308a.pdf

4. その他

- 事務局より、検討委員会に対して、TONA 複利（後決め）の利息計算に係るコンベンションのツールの配付状況について説明が行われた。
- 副議長より、検討委員会による情報発信の状況と今後の取り組み方針について説明が行われた。

以 上

「日本円金利指標に関する検討委員会」第 26 回会合 参加者

(メンバー)

議 長	三 菱 U F J 銀 行	合 田 健一郎
副 議 長	野 村 證 券	野々村 茂
	み ず ほ 銀 行	小早川 究
	三 井 住 友 銀 行	折 原 隆 志
	横 浜 銀 行	荒 井 智 希
	栃 木 銀 行	大 野 和 史
	ド イ ツ 銀 行	森 田 茂 樹
	大 和 証 券	稲 田 雄一郎
	ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
	モルガン・スタンレーMUFG 証券	江 塚 剛
	ゆ う ち よ 銀 行	市 川 達 夫
	農 林 中 央 金 庫	原 田 憲 之
	信 金 中 央 金 庫	田 中 宏 之
	第 一 生 命 保 険	甲 斐 章 文
	東京海上ホールディングス	加 藤 裕 充
	大和アセットマネジメント	高 尾 憲 久
	三 井 物 産	真 鍋 隆
	三 井 不 動 産	村 田 忠 浩
	東 日 本 旅 客 鉄 道	石 丸 幹 人
	三 菱 H C キ ャ ピ タ ル	富 永 修
	日 本 電 信 電 話	百 瀬 真 也

(オブザーバー)

全銀協 TIBOR 運営機関	小 山 寛 隆
国際スワップ・デリバティブズ協会	森 田 智 子
金 融 法 委 員 会	戸 塚 貴 晴

(弁護士)

東京金融取引所	野中篤
日本証券クリアリング機構	金子貴比古
全国銀行協会	高橋哲生
日本証券業協会	西村淑子
金融庁	加藤博紀
日本銀行	清水佳充
日本銀行	千葉誠
日本銀行	吉村玄

今回の会合には、以下の各サブグループ（SG）議長およびワーキンググループ（WG）取り纏め役が出席した。

貸出 SG 議長	みずほ銀行	柴田憲幸
債券 SG 議長	野村證券	橋本茂
ターム物金利構築 に関する SG 議長	シティグループ証券	渡辺敦也
通貨スワップ等 WG 取り纏め役	三井住友銀行	石川聡

(敬称略)

以上